

活動名	LGBT（性的マイノリティ）の子どもが安心して過ごせる学校をつくらう		団体名称	特定非営利活動法人ReBit
			活動テーマ	子どもの健全な育成を支援する活動
			活動の目的	⑥マイノリティ
■活動結果（概要）		■実施スケジュール結果		■各スケジュールごとの活動内容
セクシュアルマイノリティの子どもにとっても過ごしやすい小学校をつくる「アライ先生」になり、子どもに多様な性について教えるための教材キット"Ally Teacher 's Tool Kit"小学校高学年版"を作成。 ①先生が多様な性について知る②相談していいよを伝える③生徒に授業をするの3つのステップをサポートする12種類の教材キットとなりました。9月にオンラインで無料公開するとともに、小学校への無料発送を開始。 https://rebitlgbt.org/project/kyozai/shougakko		2017年8月～2018年3月 2018年4月～2018年9月		・小学校教諭、高校の道徳担当教諭、大学教諭等に内容やコースについてヒアリングを実施 ・先行事業である中学校版教材キットの調査紙回収、および、ReBit出張授業時の調査紙改定し、約2000枚を分析。 ・教材作成チームが始動し、教材づくりや撮影の実施。公開、配布開始
■活動目標		関東地域に住むLGBT（性的マイノリティ）の68%が学校でいじめや暴力を経験し、内12%は担任の先生からである。背景には、高校生の9割がLGBTや多様な性について習ったことがないことから生じる無理解が挙げられる。LGBTの子どもの支援、児童生徒に多様な性についての情報提供ができる教員（＝アライ先生）となるための教材セットを作成し、教育現場で多様な性についての普及/支援基盤を整え、約13人に1人いるLGBTの子どももありのままで大人になれる学校をつくる。		
■長期成果		（活動の継続性） オンラインでの無料公開を引き続き行うとともに、寄付者/企業から印刷費・送料をいただき増刷し、全国2万2000校の小学校で多様な性についての教育を届ける。 （将来的な広がり） 今回作成した小学生に教えるための教材モデルと、その効果の測定（別のご助成により実施想定）により、小学生に教える必要性と教え方の体系化を行う。これをもって、2018年度に改定をされる小学校教科書に多様な性についての掲載への後押しとする。		
活動風景				
				
Ally Teacher's Tool Kit小学校高学年版の写真1		Ally Teacher's Tool Kit小学校高学年版の写真2		封入作業の様子
■得られた成果と今後の課題		■受益者や地域社会の変化		■得られたノウハウの共有・発信
成果1) "Ally Teacher 's Tool Kit"小学校高学年版"を公開したことで、LGBTの子どもの支援、児童生徒に多様な性についての情報提供ができる教員（＝アライ先生）が増え、セクシュアルマイノリティの子どもにとっても過ごしやすい小学校が増えるきっかけとなった。 成果2) 小学校高学年向け教材作成におけるノウハウがReBitに蓄積された。 成果3) 今後教材会社や小学校教諭等が小学生向けの多様な性について学ぶための教材を作成する際に、参考にできる事例ができた。 課題1) 教材の効果測定を、教材キット内に入れたアンケートを分析して行う。そのことにより、小学校高学年に教員が多様な性について教える意義が定量的に報告できることを期待している。		変化1) 公開をしたところであるため、まだ変化については測りきれない。課題に前出の通り、教材の効果測定を、教材キット内に入れたアンケートを分析して行う。そのことにより、小学校高学年に教員が多様な性について教える意義が定量的に報告できることを期待している。		以下サイトにて、全編無料ダウンロード可能にしている。 https://rebitlgbt.org/project/kyozai/shougakko なお、お申し込みをいただいた小学校には、無料で配送を行なっている。なお、公開にあわせ、以下のようなイベントを実施し、教職員等80名に広く周知を行なった。 https://palette.lgbt/articles/19050 なお、現在3社から取材依頼をいただいているなど、今後も広く波及する想定。
〒162-0052 （住所）東京都新宿区戸山1-1-5エールプラザ戸山台301号 （団体名）認定特定非営利活動法人ReBit （ホームページ）： https://rebitlgbt.org				助成金額 1,000,000円 助成期間 H29.9.1～H30.8.31

※長期成果とは、活動目標に向かって継続的な事業を進める中で将来得られる活動成果とします。